子どもと保護者が一緒に考える家庭内ルール

鹿屋市ＰＴＡ連絡協議会

会長　竹井　高志

鹿屋市ＰＴＡ連絡協議会（鹿屋市Ｐ連）は、平成18年の市町村合併に伴い新たな枠組みでスタートして10年目を迎えています。

鹿屋市Ｐ連では、昨年度からケータイ・スマホ・ゲーム機器等の利用についてのルール作りに取り組んでいます。

◆　◆

毎年開催されている鹿屋市ＰＴＡ研究発表大会で、提言として発表された内容と取組に至った経緯や現状を紹介します。

ケータイ・スマホ・ゲーム機器等についてはマスコミ報道で、ＳＮＳやオンラインゲーム等を介した見知らぬ異性との交流や、グループトークによるいじめを要因とする痛ましい事件が発生していることは、会員の中でも話題になっていましたが、さほど緊迫した危機感はなかったと思います。

ところが、昨年６月、市教委から「ケータイ等に関連する問題が学校内で多発しており、先生方が対応に苦慮している」との連絡がありました。

これまで「小・中学校の児童・生徒にはケータイは不要である」が指導の原則であり、生徒指導もそれを前提として行われていました。それが通用しなくなってきているというのです。

児童・生徒の実態と、保護者の認識や危機意識に大きな開きがあるのではないか。そこで、学校・ＰＴＡ・市教委は、県の実態調査を基本とし、一層踏み込んだ実態調査を、さらに保護者にも意識調査を実施する必要があると判断し、協力してアンケート調査を実施しました。

その結果は、児童・生徒の学力や生活面、安全までも脅かす結果が並び、愕然とするものでした。まさに今、「待ったなし」の問題が進行しているという事実を目の当たりにし、本協議会全体で早急に対策に取り組むという判断をするに至りました。

一人でも多くの子どもたちを救うために可能な限り早急な対応を進めてきましたが、この問題をＰＴＡ、市教委、学校が共通理解し、一つになって取り組むことが重要であると感じています。ケータイやスマホ・ゲーム機器等は保護者が子どもに与えているものであり、そこから生じるトラブルは、はっきり言ってしまえば、全て各保護者の責任であり、学校や市教委に対策をお願いするものではないからです。それでも、あえて子どもたちの問題として一緒に積極的に取り組んでくださる学校や市教委に一保護者として感謝しています。また、現在この取組に大隅地区ＰＴＡ全体が同じ方向性で動き始めていることにも感謝し、心強く感じています。

昨年度の研究大会で、家庭でのルール作りを目的とした提言を発表しました。本年度は、各単位ＰＴＡで、会員全ての家庭でルールづくりを実施します。市Ｐ連全体での取組ではありますが、実際に家庭に働きかけるのは単位ＰＴＡです。各単位ＰＴＡに共通の認識が必要ですから、単位ＰＴＡの役員の方々をはじめ、会員の皆さんに子どもたちが置かれている現状を積極的に伝え、知っていただく機会を繰り返し設定しているところです。

各家庭でルールを話し合う。子どもたち自身がこの問題を自分たちの問題として考える。そして、保護者に決められたルールではなく、子どもたちが自ら作っていくルールとして定着することを目指しています。

最後になりますが、全体で取組を提案することで、「子どもを守る責任は親にある」ことを各家庭が意識し、子どもと保護者が語り合い、真摯に向き合う機会を与えられたらと願っています。

（鹿屋市Ｐ連発行のパンフレットから）

鹿屋市PTA連絡協議会　ケータイ・スマホ・ゲーム機等の利用についての提言

平成27年1月17日、鹿屋市PTA連絡協議会は３つの提言を出しました。この提言には私たち保護者の、こんな気持ちがこめられています。

①子どもを守る責任は保護者にあることを自覚し、家庭での情報モラル教育に努めます。

- 私たちは、あなたに、将来、責任のある大人となり、自分の力で立派に働き、豊かな生活を送ってもらいたいと願っています。
- 私たちは、今、世界中で起こっているネット利用によるトラブルが、あなたにも起こるのではないかと、心から心配しています。
- すでに機器を与えた保護者も、まだ与えていない保護者も、我が子がネットにとらわれてしまい、本来、我が子が得られたであろう輝かしい未来を、我が子が得られなくなることを恐れています。

②子どもの心と身体を守るために、利用するときは、ルールやマナーを守らせます。

- 私たちは、あなたが、ネットを通していじめを行ってしまい、だれかを傷つけたり、逆にいじめられて傷ついたりするのではないかと心配しています。
- 私たちは、あなたがネット依存になり、健康を壊したり、精神を病んだり、閉じこもったりするのではないかと恐れています。また、ネット上で知り合った人と実際に会うことで事件に巻き込まれてしまうことを恐れています。
- 私たちは、あなたがネットに夢中になるあまり、事故を起こしてしまったり、周囲の人を不愉快な気持ちにさせてしまうことを心配しています。

③携帯・スマホ・ゲーム機等の利用時間は、夜９時までを基本とします。

- チャットで夜遅くまで友達と連絡をとっているのは、参加しないことが、いじめの理由になるからです。それを防ぐために、夜９時以降はチャットをしないように、鹿屋市の全ての家庭で決めるのがよいと考えています。
- 夜遅くまで、ネットを利用していることで、学習する能率も落ち、学習時間も減り、学力も確実に落ちてしまいます。学力が落ちることで、あなたが、進みたい進路に進めなくなることを私たちは心配しています。

家庭でのルールをつくりましょう！